

ばあちゃん、ぼくのドラエモン

岩本 一馬

僕が困っている時、ドラエモンみたいにやっけてきて、助けられるばあちゃん、どんな時も僕の味方でいてくれるばあちゃん、いつも、いつも、ありがとう。

ぼくのばあちゃんは元気で毎日婦人会、JA女性部活動や編物、お花などカレンダーに予定を書いていそがしく楽しい毎日をすごしていて、いろんな所に、友達がいっぱいいます。

「今できる時に、しとかないかん」と人のために何かをする事が大好きなやさしいばあちゃんです。

習い事の送り迎えしてくれてありがとう。
不安な時いつも見てくれてありがとう。

でも、ありがとうがいえなくて、はだしでにげたら、「こらー」と怒られた。

「くそババァ、ちゃんと迎えに来いよ。」
と言ってごめんな。

晩ご飯を作ってくれて、ありがとう。
でも、野菜が嫌いで時々残して、ごめんな。

僕が
「こんなんしたい」と言ったら、絶対にその願いをかなえてくれる、ばあちゃん、ありがとう。

約束はどんな事があっても、守ってくれてありがとう。
僕の事を皆にじまんしてくれてありがとう。
お父さんや、お母さんに怒られた時、かばってくれてありがとう。

自転車、逆上がりが誰より早くできる様に教えてくれて、ありがとう。

やればできる、と何にでもチャレンジさせてくれて、僕はいろんな事ができるようになったよ。

すて犬を拾って、毎日散歩へ行つてあげるやさしいばあちゃん、僕はばあちゃんが大好きです。いつも、文句ばかり言つてごめんな。ばあちゃんが僕のばあちゃん、良かった。♡
「一馬はできるでー。」といつもまほうの言葉をかけてくれて、ありがとう。

けがをしたり、病気になったりしたら、治してくれて、ありがとう。

ばあちゃんの手は、まほうの手やなあ。

僕が十一歳になって、今言いたい事は、ばあちゃんこれからもたのむで、元気で、一緒におつてなあです。オレのばあちゃん、いつもありがとう。